

## 姫川の動物

### ほ乳類・両生類・は虫類

姫川は、山々が川の近くまで迫っているために、ニホンカモシカやツキノワグマといった大型の動物をはじめとして、多くの動物が河川敷に現れます。しかし、河川敷を主な生息地として利用しているのは、カジカガエルやネズミの仲間といった小さな種類だけです。そのほかの動物は、移動ルートやえさとりに、河川敷を利用しています。また、虫川や根知川と合流するところは、規模の小さな樹林があり、中型や大型のほ乳類が、隠れ場やえさをとる場所としてよく利用しています。このようなところでは、姫川に生息する動物がよく観察されます。また、水ぎわの泥地や、橋のまわりの地面が柔らかいところでは、ほ乳類の足跡を見つけることができます。

### 鳥類

姫川は、よく川の水があふれ出るので、河川敷に生えている植物は、安定しません。生えている植物の多くは、まばらな草木ですから、このような場所を好む、ホオジロやセグロセキレイが多くすんでいます。また、コチドリ、イカルチドリ、イソシギ、セグロセキレイといった、川の中流で見られる鳥類が、河口のところでも繁殖しており、海に近いのに、鳥類相は、中流の平野部の鳥類相に近いということが、姫川の特徴です。また、近くの山地で、巣をつくっていることもあって、ワシタカ類がよく見られることも姫川の特徴の一つです。

### 昆虫類

姫川の河川敷は、植物の生え方が安定していません。したがって、草地や丈の低い林があちこちにあるので、それらの分布にそって、昆虫類も分布しています。姫川は、特に、昆虫類が豊かだということはありませんが、荒れ地や砂地、初期の草地によく見られる種類が多く、環境によく合った昆虫相となっています。ただし、河川敷と、山々や集落、田畑とが近いので、姫川の、まわりの環境にすんでいる昆虫類も見ることができます。

### 魚類

姫川は、昔から洪水が多く、川底に石が多くて安定しないだけでなく、川幅も、年や季節によって変化し、すんでいる魚種もあまり多くありません。しかし、サケの漁獲量の多い川で、それぞれの支川では、イワナやヤマメの溪流釣り、下流では、アユ釣りが行われています。